

誘蛾燈 総目次

Nos. 199-226 (2010-2016)

報 文

青木俊彦：〔高橋雅彌を見よ〕	(208)	58
浅井 弘：埼玉県でマエグロシラオビアカガネヨトウを採集	(212)	78
枝 恵太郎：〔中島秀雄を見よ〕	(199)	1
———：〔中島秀雄を見よ〕	(200)	61
遠藤弘志・大和田 守：小型ロビンソントラップで早春の蛾を採集	(218)	113
———・阪本優介・宮野昭彦：クレナイハガタシャチホコの中部・関東地方における採集記録	(208)	35
———・高村朋佳・田部達也・福住和也・宮野昭彦・山田真澄：高ボッチ高原の蛾類 (1)	(205)	93
円谷悦造：石垣島新記録の蛾 5 種	(212)	73
藤平 暁：〔工藤広悦を見よ〕	(213)	113
福本昭男：北海道奥尻島からキオビゴマダラエダシャクを採集	(205)	104
福住和也：〔中島秀雄を見よ〕	(200)	61
———：〔遠藤弘志を見よ〕	(205)	93
船越進太郎：アラカシより得たシャクガ科幼虫の追加	(205)	119
船越進太郎・那須義次・佐藤宏明・富沢 章：岐阜県のフモトミズナラに寄生する蛾	(219)	13
船越進太郎：〔宮野昭彦を見よ〕	(200)	66
林 肇：北海道大空町の蛾	(220)	65
———：〔楠 祐一を見よ〕	(207)	17
平野長男：長野県と一部他県のツツミノガ科の記録	(214)	145
今村隆一：〔間野隆裕を見よ〕	(205)	105
伊藤建夫：〔岸田泰則を見よ〕	(203)	19
———：〔岸田泰則を見よ〕	(205)	107
亀田 満：北海道産マルハキバガ科の記録 V 小木広行氏採集の <i>Promalactis</i> 属 6 種	(200)	89
———：キシタバとアカテンクチバを北海道南部で採集	(200)	91
———：アズサキリガを北海道南部で採集	(200)	92
———：ウスオビヒメエダシャクを北海道南部で採集	(200)	93
———：マメチャイロキヨトウとスジシロキヨトウを北海道南部で採集	(201)	100
———：北海道南部のカバナミシャク属 4 種	(201)	101
———：北海道南部のアツバ亜科・クルマアツバ亜科の追加記録	(201)	103
———：北海道南部のヒトリガ科について	(203)	5
———：タイワンキシタバとソトムラサキアツバを北海道南部で採集	(204)	57
———：北海道産マルハキバガ科の記録 VI	(204)	58
———：北海道のトリバガ科 5 種について	(207)	4
———：北海道南部におけるメイガ類の記録 I	(207)	6
———：クロスジシロコバガを北海道南部で採集	(207)	21
———：ナカジロアツバとオオシラナミアツバを北海道南部で採集	(208)	50
———：北海道南部でアメイロホソキリガを採集	(209)	93
———：北海道南部のコバガ科 12 種について	(209)	94

——— : 北海道でクロモンアシプトヒメハマキを採集	(209) 106
——— : タイワンキシタクチバを北海道で採集	(209) 106
——— : 北海道でツキワクチバを採集	(209) 106
——— : 北海道南部におけるメイガ類の記録 II	(210) 115
——— : 北海道南部のベニコヤガ亜科とスジコヤガ亜科の記録	(210) 117
——— : 北海道産マルハキバガ科の記録 VII	(211) 27
——— : キララキシタバの新産地	(211) 38
——— : 北海道のシモフリスズメとトビイロスズメについて	(212) 53
——— : イネヨトウを北海道で採集	(212) 72
——— : コマバシロコブガとミカボコブガを北海道南部で採集	(212) 79
——— : ヒメアカマエヤガを北海道で採集	(213) 102
——— : スジシロキヨトウを北海道で採集	(213) 110
——— : 北海道南部におけるメイガ類の記録 III	(213) 111
——— : 北海道のオオクロミャクマルハキバガについて	(214) 126
——— : 北海道でオオウンモンクチバを採集	(214) 127
——— : 北海道南部のヒトリガ科について II	(214) 128
——— : スジシロキヨトウを北海道で採集	(214) 148
——— : 北海道南部のシャクガ科について I —カバシャク亜科, エダシャク亜科 (1)	(216) 33
——— : 北海道でコウチスズメの幼虫を採集	(216) 43
——— : ヒメハイイロヨトウの新産地	(216) 44
——— : 北海道南部のシャクガ科について II—エダシャク亜科 (2)	(217) 88
——— : 北海道南部のカレハガ科とドクガ科	(218) 123
——— : 北海道のオオヤママイマイについて	(218) 130
——— : アシプトヒメハマキを北海道で採集	(218) 131
——— : キミャクヨトウを北海道で採集	(218) 132
——— : 北海道でミカドリバを採集	(218) 132
——— : 北海道でオオタバコガを春に採集	(218) 132
——— : 北海道南部のシャクガ科について III —フユシャク亜科, ホシシャク亜科, アオシャク亜科, ヒメシャク亜科	(220) 56
——— : 北海道南部のシャクガ科について IV —ナミシャク亜科 (1) —	(221) 103
——— : 北海道南部のシャクガ科について V —ナミシャク亜科 (2) —	(222) 138
——— : ムーアキシタクチバを北海道で採集	(222) 146
——— : 北海道南部におけるメイガ類の記録 IV	(223) 5
——— : 北海道南部のテングアツバ亜科, ムラサキアツバ亜科, ミジンアツバ亜科, ベニスジアツバ 亜科, カギアツバ亜科, ツマキアツバ亜科の記録	(224) 43
——— : シンジュキノカワガを北海道で採集	(224) 49
——— : 北海道のムラサキオオアカキリバ追加記録	(225) 68
——— : 北海道南部におけるメイガ類の記録 V	(225) 77
——— : ナミスジチビヒメシャクを北海道南部で採集	(225) 79
——— : 北海道でムラクモアツバを採集	(226) 98
——— : アメイロホソキリガ北海道南部の追加記録	(226) 113
——— : [佐藤力夫を見よ]	(224) 39
神部昭夫 : 北海道のバンタイマイマイの記録	(215) 25
——— : コシロオビドクガの山梨県における採集例	(224) 42

金子岳夫：新潟県粟島の蛾類	(199) 33
——：佐渡島におけるウラクロスジシロヒメシャクの記録の訂正	(199) 53
——：愛知県豊橋市及び田原市におけるサラサリンガの記録	(199) 53
——：石川県におけるギンバナヒメシャクの記録	(200) 66
——：サキシマベニスジヒメシャクの沖縄島からの記録	(200) 88
——：愛知県豊橋市でハマオモトヨトウを採集	(202) 164
——：愛知県豊橋市でナカグロクチバの死骸	(203) 15
——：大英自然史博物館の井上コレクションに含まれていたクリームヒメシャクとミチノクヒメシャク	(203) 31
——：ミナミハイロヒメシャクのマレーズトラップによる記録	(203) 34
——：島根県隠岐島後島のヒメシャク 2 種	(204) 46
——：フタツメオオシロヒメシャクの三重県における東限分布記録	(204) 69
——：シンジュサンを愛知県豊川市で確認	(206) 134
——：屋久島産ヒメシャク亜科 2 種の記録	(207) 27
——：サツマヒメシャクの学名について	(210) 138
——：沖縄島におけるウルマトビスジエダシャク雌の採集例	(210) 139
——：クロモンチビヒメシャクの島根県からの記録	(210) 142
——：飯豊連峰大日岳産サザナミナミシャクの記録	(211) 38
——：タナカヒメシャク♂の記載	(212) 65
——：イハラエダシャクを愛知県豊田市で採集	(212) 66
——：香川県におけるタナカヒメシャクの採集記録	(214) 118
——：クロモンチビヒメシャクの岐阜県からの採集記録	(214) 125
——：ヒルムシロを寄主としていたキトガリヒメシャク	(214) 144
——：日本産コヒメシャクの分類学的取り扱いと 50 年ぶりの秋田からの発見	(215) 15
——：クロスジカバナミシャクの対馬からの追加記録	(215) 17
——：ウラクロスジシロヒメシャクに関する覚え書き	(216) 50
——：石垣島初記録のナミシャク 2 種	(216) 52
——：ウスバシロエダシャクの交尾観察例	(216) 55
——：ウスクモエダシャクの越冬蛹化場所の観察例	(218) 107
——：筑波山でヒロバウスアオエダシャクを採集	(218) 122
——：新潟県糸魚川市でトシマカバナミシャクを採集	(219) 32
——：愛知県におけるアケビコノハ 2 月の採集例	(222) 164
——：愛知県豊橋市でテングナミシャクを採集	(225) 76
——：〔清野昭夫を見よ〕	(219) 3
——：〔高橋雅彌を見よ〕	(208) 58
片岡敬一：〔増井武彦を見よ〕	(211) 31
川原 進：ニセシロモンクロシンクイは北海道にも産する	(226) 104
河上友三：オオギンモンカギバの食草、幼虫及び蛹	(201) 115
——：佐藤力夫：ナンゴクハスオビキエダシャクの幼生期	(212) 55
木村正明・佐々木明夫：カズナリコブガの西表島からの記録と新食草	(214) 117
——：佐藤力夫：ムラサキトガリシャクの幼虫	(216) 53
——：〔佐々木明夫を見よ〕	(200) 70
——：〔佐々木明夫を見よ〕	(207) 1
——：〔佐々木明夫を見よ〕	(211) 39
——：〔佐藤力夫を見よ〕	(201) 97

———：〔佐藤力夫を見よ〕	(202) 151
木下總一郎：和名「ミノモマイマイ」について	(206) 149
———：石垣島オモト岳山麓2月の採集品	(211) 33
岸田泰則：佐々木昇氏の「ワモンキシタバ群の分類に関する私見」を読んで	(202) 158
———：長野県明科で得た蛾若干	(204) 70
———：クロシタホソヤガを石垣島で採集	(207) 26
———：マエグロシラオビアカガネヨトウを山梨県で採集	(208) 60
———：ウンナンヨツボシホソバを静岡県で採集	(215) 25
———：アサマウスモンヤガを群馬県嬬恋村で採集	(221) 133
———：カバイロキヨトウを長野県白馬村で採集	(222) 165
———：タカオケンモンを山梨県大月市で採集	(225) 63
———・Seegers, R.・伊藤建夫：上高地地域の昆虫相調査によって得られた蛾(1)	(203) 19
———・Seegers, R.・伊藤建夫：上高地地域の昆虫相調査によって得られた蛾(2)	(205) 107
喜多 斉：近畿の <i>Catocala</i> ～幼虫の記録(4)	(199) 22
———：近畿の <i>Catocala</i> ～幼虫の記録(5)	(202) 149
———：近畿の <i>Catocala</i> ～幼虫の記録(6)	(203) 35
———：近畿の <i>Catocala</i> ～幼虫の記録(7)	(204) 72
———：近畿の <i>Catocala</i> ～幼虫の記録(8)	(205) 122
———：近畿の <i>Catocala</i> ～幼虫の記録(9)	(211) 41
小林秀紀：道東の蛾・キララキシタバとワモンキシタバの簡単な見分け方	(202) 155
———：ランタナアツバを硫黄島で採集	(207) 21
小木広行：マダラメイガ2種の幼虫と食草	(200) 57
———：北海道でクリオビキヒメハマキを採集	(201) 105
———：北海道でキマダラシロナミシャクを採集	(204) 74
———：ヒメアカマダラメイガとウスアカモンクロマダラメイガの幼虫と食草	(205) 121
———：キバガ科の幼虫とその食草(1)	(208) 33
———：北海道で採集のモグリチビガ4種	(210) 144
———：キバガ科の幼虫とその食草(2)	(213) 100
———：キバガ科の幼虫とその食草(3)	(215) 19
———：キバガ科の幼虫とその食草(4)	(216) 29
———：キバガ科の幼虫とその食草(5)	(219) 1
———：キバガ科の幼虫とその食草(6)	(221) 89
———：北海道でアカバヒメハマキを採集	(223) 7
———：キバガ科の幼虫とその食草(7)	(224) 29
———：イラガ(イラガ科)の繭について	(225) 61
小松利民：シャンハイオエダシャクは蛹で越冬	(214) 125
———・大村信一：北海道南部渡島半島から採集された分布上興味ある蛾類	(214) 119
越野誠一郎：クビアカスカシバは普通種かも	(199) 20
工藤広悦：スジツトガの幼生期と関東における発生状況	(208) 43
———：ハガタウスキヨトウの幼虫について	(210) 123
———：モンゴルの秋にフユエダシャク <i>Erranis</i> を追う	(214) 149
———：ウキヤガラシムシガの幼生期	(217) 80
———・藤平 暁：マエジロツトガの関東からの記録	(213) 113
楠 祐一・林 肇：北海道中部～西部のキララキシタバ、ワモンキシタバの記録	(207) 17

———・奥 俊夫：北日本産ツツミノガ科の分布記録と生態 (2)	(201) 121
———・奥 俊夫：北日本産ツツミノガ科の分布記録と生態 (3)	(209) 83
———・奥 俊夫：北日本産ツツミノガ科の分布記録と生態 (4)	(213) 85
———・奥 俊夫：北日本産ツツミノガ科の分布記録と生態 (5)	(221) 91
———：〔奥 俊夫を見よ〕	(226) 93
真鍋泰彦：南四国の記録しておきたい蛾類 2	(199) 15
———：三重県における <i>Cleora</i> 2 種の採集記録	(200) 58
———：沖縄の記録しておきたい蛾類	(201) 108
———：南四国の記録しておきたい蛾類 3	(205) 113
———：2010 年 5 月に石垣・西表島で得た蛾	(206) 129
———：南四国の記録しておきたい蛾類 4	(217) 83
———：沖縄島の 12 月の蛾類	(220) 79
間野隆裕：オオウスグロノメイガの三重県からの記録	(203) 22
———：ヒメゴマダラノメイガ，シロミヤクツトガとクロテンシロミズメイガの記録	(205) 103
———：ナイトウノメイガを愛知県豊田市で採集	(205) 106
———・今村隆一・宮本佳典：本土未記録種ハスオビイラガの三重県からの記録	(205) 105
———・高崎保郎：キモンホソバノメイガの飼育記録及び幼虫，蛹の記載	(204) 41
増井武彦：四国で最初に採集されたヤクシマヒメキシタバの記録	(209) 98
———：四国の蛾の分布資料 (XIV) 四国の <i>Laelia</i> 属はスゲドクガ	(210) 129
———：セスジヒトリ今昔物語	(211) 43
———：石垣島で得られた本邦 2 頭目のテンモンエダシャク	(217) 64
———：四国のアカモンコナミシャクの記録について	(217) 97
———：香川県で得られた注目すべきシャクガ科 3 種の記録	(218) 116
———・片岡敬一：四国のヒゴキンウワバの記録	(211) 31
宮原義雄：延岡市の海岸調査で見つかった移動性メイガ	(199) 31
宮本佳典：〔間野隆裕を見よ〕	(205) 105
宮野昭彦：トウホクチビコブガを岐阜県で採集	(201) 133
———：岐阜県・愛知県でのミナミトビカギバエダシャクほか 4 種の採集記録	(203) 33
———：ウスベニオオノメイガなど鱗翅目 4 種の寄生蠅	(204) 59
———：寄生蠅により寄生された蛾類 (1)	(207) 24
———：カメダカバナミシャクを岐阜県で採集	(208) 60
———：トウホクチビコブガを愛知県で採集	(208) 61
———：岐阜・滋賀県の湿地に生息するウスバミスジエダシャクと異なる <i>Hypomecis</i> 属の 1 種	(209) 76
———：蛾類幼虫飼育メモ (1)	(210) 132
———：クロヤエナミシャクの寄主植物と岐阜県における採集記録	(210) 143
———：クワトゲエダシャクの累代飼育から得た生態に関する知見	(211) 2
———：ハイマダラコヤガを岐阜県で採集	(214) 139
———：フモトミズナラにつく蛾類 (1)	(214) 140
———：ダイセンハグルマエダシャクの新産地と♂の特徴	(215) 11
———：寄生蠅により寄生された蛾類 (2)	(216) 31
———：キモンホソバノメイガを岐阜県で採集	(216) 57
———：フモトミズナラにつく蛾類 (2)	(219) 8
———：蛾類幼虫飼育メモ (2)	(220) 44
———：長野・群馬県におけるヒメミスジエダシャクの採集記録	(221) 134

———：岐阜県におけるミヤタツマトビキエダシャクの採集記録	(222) 137
———：フモトミズナラにつく蛾類 (3)	(225) 64
———・船越進太郎：乗鞍岳でフジカバナミシャク	(200) 66
———・山田 純：エノキについたクワトゲエダシャク	(218) 120
———：〔遠藤弘志を見よ〕	(205) 93
———：〔遠藤弘志を見よ〕	(208) 35
水野利彦：ヒメシロモンドクガの gynandromorph の記録	(211) 1
水谷 穰：札幌市のツマアカナミシャク	(202) 165
———：ドングリを食べる 6 種類の蛾について	(203) 29
———：北海道からキミヤクヨトウの採集例	(206) 151
———：北海道西部から記録されている蛾 3 種について	(207) 25
———：北海道のキシジシロフタオについて	(210) 114
———：札幌市の <i>Nemacerota</i> 属 (カギバガ科トガリバガ亜科) について	(210) 127
———：北海道から記録されているコブガ科とヤガ科 6 種について	(210) 145
———：北海道のヨモギガについて	(214) 153
———：北海道南西部におけるハマキモドキガ科 2 種の生態について	(219) 4
村瀬ますみ：イナゴマメマダラメイガの追加寄主と越冬幼虫の羽化	(199) 6
———：枝にも食入するトベラササベリガの幼虫	(202) 164
———：飼育ノート 6・チビガ科 1 種, メイガ上科 5 種	(205) 111
———：クロメンガタスズメの幼虫をノウゼンカズラから採集	(206) 151
———：スジオビヒメハマキの若齢幼虫と越冬態	(209) 101
———：シャクガ科 3 種の幼虫	(210) 140
———：大阪府の中部でスジオビヒメハマキを採集	(219) 31
———：セグロナミシャクの寄主植物	(223) 23
———：シロスジカバマルハキバガが朽ちたキノコから羽化	(226) 105
———：〔新見清夫を見よ〕	(209) 102
永井 脛：〔佐藤力夫を見よ〕	(209) 65
内藤恒夫：〔佐藤力夫を見よ〕	(226) 109
———：〔佐藤力夫を見よ〕	(226) 110
———：〔佐藤力夫を見よ〕	(226) 111
———：〔佐藤力夫を見よ〕	(226) 112
中島秀雄：分布上記録しておきたい蛾類	(204) 47
———：分布上記録しておきたい蛾類 (2)	(209) 99
———：蛾類の食草記録	(212) 59
———：オオクロテンヒメシャクを沖縄島で採集	(212) 64
———：日本産フユシャクガの採集記録とその知見	(213) 103
———：関東地方周辺の晩秋から早春における蛾類の記録	(215) 1
———：関東地方周辺における <i>Pseudopanolis</i> 属 2 種の採集記録および幼虫と食草について	(219) 23
———：日本産フユシャクガの採集記録とその知見 II	(225) 69
———・枝 恵太郎：朝日連峰高山帯の蛾	(199) 1
———・四方圭一郎・枝 恵太郎・福住和也：中央アルプス将基頭山高山帯の蛾類	(200) 61
———：〔矢崎克己を見よ〕	(200) 59
中村正直：最近の分類体系に基づくメイガ科およびツトガ科の蛹の分類についての予報的考察	(202) 141
中西 淳：山口県でハネホソトガリミズメイガを採集	(211) 40

那須義次：シジュウカラとヤマガラの巣箱内で蛹化したオオヤママイマイ	(208) 57
——・西海 功：カラ類の巣箱を夏眠と蛹化場所として利用する蛾	(218) 121
——・佐藤宏明：日本産 <i>Niditinea</i> 属（ヒロズコガ科）3種の識別形質	(226) 99
——：〔船越進太郎を見よ〕	(219) 13
新見清夫・村瀬ますみ：ホソバネマガリガの追加寄主とヒトスジマグリガと思われる潜葉幼虫	(209) 102
西田賢司：〔孫 在天を見よ〕	(208) 47
西海正彦：東京都未記録の蛾類（第1報）	(199) 23
——：東京都未記録の蛾類（第2報）	(203) 23
——：東京都未記録の蛾類（第3報）	(208) 51
——：東京都青梅市でクレナイハガタシャチホコを採集	(209) 81
——：東京都未記録の蛾類（第4報）	(212) 75
——：セイヨウジュウニヒトエはタツナミトリバの食草か	(215) 23
——：東京都未記録の蛾類（第5報）	(217) 72
——：東京都未記録の蛾類（第6報）	(222) 162
——：東京都のブドウトリバ・イッシキブドウトリバの同定結果と交尾器による再検討	(223) 12
——：東京都未記録の蛾類（第7報）	(226) 106
西尾規孝：マダケの樹液にいた蛾	(199) 12
——：カバフキシタバとフシキシタバの石川県の記録を取り消す	(208) 61
——：シロシタヨトウの蛹化場所観察例	(212) 54
——：ウチスズメの蛹化場所観察例	(212) 74
——：ハイイロフユシャクモドキの交尾後	(212) 80
——：アサマキシタバの天敵であるネコ	(213) 99
——：ノコメキシタバがアブラムシの分泌物を吸汁	(213) 102
——：カバイロモクメシャチホコの卵寄生蜂	(213) 110
——：トビイロトラガの交尾行動	(219) 32
——：ウスタビガの羽化と交尾行動	(220) 41
——：蛾類の交尾観察 12 —交尾時刻と性による誘引—	(221) 117
——：クロメンガタスズメと寄生蜂	(222) 159
——：キハダカノコの飼育	(223) 16
——：オニベニシタバの卵寄生蜂 <i>Ooencyrtus</i> sp. の生態	(224) 52
西海 功：〔那須義次を見よ〕	(218) 121
岡村元昭：ウスイロキシタバの雌雄型を採集	(210) 113
——：クロフシロエダシャクの黒化型を採集	(211) 47
奥 俊夫：クリイガモグリキバガの正体	(206) 152
——・楠 祐一：日本産 <i>Coleophora tamesis</i> Waters タニガワツツミノガ（ツツミノガ科）の特異点など	(226) 93
——：〔楠 祐一を見よ〕	(201) 121
——：〔楠 祐一を見よ〕	(209) 83
——：〔楠 祐一を見よ〕	(213) 85
——：〔楠 祐一を見よ〕	(221) 91
大村信一：〔小松利民を見よ〕	(214) 119
大和田 守：中横帯が異様に黒く太くなったマエキヒメシャク	(202) 154
——：〔遠藤弘志を見よ〕	(218) 113
斉藤 修：チャミノガ羽化時期の雌雄間における異常に長い間隔	(221) 132
——：ガマから採集したキスジウスキヨトウ成虫の色彩変異	(222) 160

阪本優介：ヒロバウスアオエダシャクを神奈川県で採集	(206) 150
———：イラクサゴマダラヒトリの記録	(223) 19
———：関東で得られた記録しておきたい蛾類	(226) 102
———：〔遠藤弘志を見よ〕	(208) 35
鮫島真一：〔佐藤力夫を見よ〕	(217) 61
佐々木明夫：八重山諸島から得られたツトガ亜科の1種	(204) 65
———：小木広行氏採集のサハリンのツトガ	(218) 133
———：石垣島・西表島からのツトガとメイガの記録	(222) 147
———：日本産 <i>Quasinarosa</i> 属（イラガ科）についての分類学上の若干の知見	(223) 1
———：木村正明：徳之島から採集された日本未記録のノメイガ	(200) 70
———：木村正明：日本未記録のツトガ科の1種とフタオレツトガ（琉球亜種）♀についての知見	(207) 1
———：木村正明：西表島から採集されたアカイラガ属の1種	(211) 39
———：田中政行：石垣島と西表島で得た若干の蛾	(203) 1
———：梅津一史：2009年5月に石垣・西表島で得た蛾若干	(199) 7
———：山内健生：ヒメキシジツトガを八重山諸島から採集	(209) 70
———：〔木村正明を見よ〕	(214) 117
———：〔山内健生を見よ〕	(209) 104
佐々木 昇：岡山県でシロマダラカバナミシャクを採集	(199) 13
———：軟化剤その後	(200) 81
———：ワモンキシタバ群の分類に関する私見	(201) 134
佐藤宏明：〔船越進太郎を見よ〕	(219) 13
———：〔那須義次を見よ〕	(226) 99
佐藤力夫：新潟県の蛾類に関する文献（追加47）	(199) 28
———：新潟県の蛾類に関する文献（追加48）	(203) 36
———：日本産エダシャク数種の色彩斑紋異常個体	(205) 87
———：新潟県の蛾類に関する文献（追加49）	(207) 22
———：ヒメミスジエダシャクの分類，生態，分布に関する知見	(211) 11
———：石垣島初記録のシャクガ2種	(211) 21
———：新潟県の蛾類に関する文献（追加50）	(211) 47
———：新潟県の蛾類に関する文献（追加51）	(215) 21
———：日本のスジグロエダシャクの再記録と1記録の削除	(218) 117
———：新潟県の蛾類に関する文献（追加52）	(219) 36
———：新潟県の蛾類に関する文献（追加53）	(223) 20
———：ヒメアカマエヤガを新潟市で採集	(225) 75
———：マダラニジュウシトリバを新潟市で採集	(225) 83
———：亀田 満：石垣島で採集された日本未記録のエダシャク： <i>Cleora alienaria</i> (Walker)	(224) 39
———：木村正明：西表島で採集された日本初記録のエダシャク2種	(201) 97
———：木村正明・富永 智：タンチャメノコメエダシャクの幼虫と奄美大島・徳之島の成虫採集記録	(202) 151
———：永井 脛：日本から初めて採集されたエダシャク： <i>Hypochrosis baenzigeri</i> Inoue	(209) 65
———：内藤恒夫：新潟県でクビシロノメイガとナカキトガリノメイガを採集	(226) 109
———：内藤恒夫：カザリツマキリアツバを新潟県内で採集	(226) 110
———：内藤恒夫：ホソバミドリヨトウを新潟県内で採集	(226) 111
———：内藤恒夫：スギタニマダガ新潟県内で採集	(226) 112
———：鮫島真一：奄美大島におけるユワンオオエダシャクの雌の発見と雄の追加記録	(217) 61

——— : [河上友三を見よ]	(212) 55
——— : [木村正明を見よ]	(216) 53
——— : [清野元之を見よ]	(207) 19
——— : [富沢 章を見よ]	(206) 149
Seegers, R. : [岸田泰則を見よ]	(203) 19
——— : [岸田泰則を見よ]	(205) 107
清野昭夫 : 新潟県から記録のなかった小蛾類	(219) 33
——— : 新潟県から記録のなかったミノガ科 4 種	(219) 35
——— : 新潟市間瀬で採れたヨモギガの再記録	(226) 92
——— : エグレカイハネガとソトキボシコヤガは奄美大島で採れていた	(226) 112
——— ・金子岳夫 : 新潟県のアメイロホソキリガの 1 記録	(219) 3
清野元之・佐藤力夫 : 西表島で採集された日本未記録のテンモンエダシャク (新称)	(207) 19
柴田泰利 : 井上 寛著作目録 (1988-2008)	(200) 71
四方圭一郎 : [中島秀雄を見よ]	(200) 61
清水 一 : マルデオオホシミヨトウを大阪府南西部で採集	(223) 19
——— : アカオビフトメイガを大阪府及び奈良県で採集	(224) 50
——— : サビイロクチブサガを大阪府南西部で採集	(224) 50
孫 在天・西田賢司 : アメリカ合衆国国立自然史博物館 (スミソニアン協会, ワシントン DC) の日本産 スガ上科の標本について (1) ークチブサガ属 (クチブサガ科)	(208) 47
高橋雅彌・青木俊彦・金子岳夫 : キュウシュウヒメシヤクの宮城県における採集例	(208) 58
高村朋佳 : [遠藤弘志を見よ]	(205) 93
高崎保郎 : [間野隆裕を見よ]	(204) 41
高谷 太 : マエモンノメイガを山形県で採集	(215) 24
——— : イチゴナミシヤクを山形県で採集	(216) 32
田部達也 : アズサキリガ黒化型の発現に関する解析 (予報)	(218) 105
——— : [遠藤弘志を見よ]	(205) 93
田中政行 : シャンハイオエダシャクの黒化型	(211) 22
——— : [佐々木明夫を見よ]	(203) 1
富永 智 : 日本未記録種 : ミナミサガリバナヒメハマキ (新称) の報告	(199) 29
——— : ヤクシマフトスジエダシャクとミナミサガリバナヒメハマキに関する報文中の食草に関する 記述の誤りと訂正	(200) 60
——— : 沖縄島における <i>Hypena</i> 4 種の飼育記録	(200) 67
——— : タイワンオオシロエダシャクの食草はヤエヤマシキミ	(201) 106
——— : フクラスズメ幼虫をカジノキから得た記録	(202) 153
——— : リンゴハマキホソガ幼虫を沖縄島でシャリンバイから得た記録	(202) 153
——— : 沖縄島, 石垣島における蛾類の食草記録	(202) 161
——— : ヨツボシセセリモドキ幼虫をタイワンウオクサギから得た記録	(203) 16
——— : ユーウスイロキヨトウとマドバネサビイロコヤガの飼育記録	(204) 61
——— : リュウキュウチクを食草とする蛾類 (1) 〜オキナワウスイロコヤガ	(205) 89
——— : 沖縄島と石垣島におけるツタガ科 13 種の生態記録	(206) 135
——— : 沖縄島, 石垣島における蛾類 9 種の食草記録	(206) 142
——— : 沖縄島, 石垣島におけるノメイガ亜科 7 種の生態記録	(207) 11
——— : 石垣島でレイシヒメハマキ幼虫を採集した記録を取り消す	(207) 16
——— : キハラモンシロモドキの生態記録	(208) 38

——— : リュウキュウチクを食草とする蛾類 (2) ～フタクロオビクチバとソトハガタアツバ	(209) 71
——— : 沖縄島におけるケブカノメイガとノメイガ亜科蛾類 3 種の生態記録	(210) 147
——— : 沖縄島初記録と思われる小蛾類 3 科 4 種の報告	(211) 23
——— : 沖縄島初記録種を含むベニスジヒメシヤク類 3 種の幼虫の生態	(212) 67
——— : アトアカヒトリの寄主植物と幼生期	(213) 96
——— : 石垣島におけるナミシヤク亜科蛾類 4 種の幼虫と食草の記録	(214) 130
——— : ヘリグロヒメシヤクの野外における食草と過去の食草記録の訂正	(215) 13
——— : アトツマグロオオスヒロキバガ, シタバニコノハの西表島における生態記録	(216) 45
——— : 沖縄島, 石垣島における <i>Hypena</i> 属 3 種の食草記録	(217) 65
——— : 沖縄島におけるイチジクカサンの生態記録	(218) 108
——— : 沖縄島におけるアサヒナオオエダシヤクの生態記録	(219) 28
——— : 沖縄島におけるヘリアカトガリアオシヤクの生態記録	(220) 51
——— : 南方系小蛾類の沖縄からの新発見で考えたこと	(220) 54
——— : 冬の沖縄島におけるサツマニシキの飼育例	(220) 64
——— : 沖縄島におけるオオベニモンアオリングの生態記録	(221) 111
——— : [佐藤力夫を見よ]	(202) 151
富永 智 : スノマオに寄生する <i>Hypena</i> の一種ヒロミアツバ (新称) の報告	(222) 149
——— : ヤガ科トモエガ亜科 3 種とハナジロクチバ (エグリバ亜科) の沖縄島における生態記録	(223) 8
——— : トガリバシヤチホコとミスジチャイロアツバの生態記録	(224) 31
——— : リュウキュウチクを食草とする蛾類 (3) ～オキナワウスベリケンモン	(225) 80
——— : アオビユツツミノガ (ツツミノガ科) の沖縄島における生態記録	(226) 89
富沢 章 : 石川県小松市でシンジュキノカワガ幼虫が発生	(205) 85
——— : 石川県産蛾類の追加記録 V	(206) 145
——— : 石川県産蛾類の追加記録 VI	(214) 135
——— : 石川県産蛾類の追加記録 VII	(222) 153
——— : ガマヨトウの異常型を石川県で採集	(225) 76
——— : 佐藤力夫 : クロフヒメエダシヤクの黒化型	(206) 149
——— : [船越進太郎を見よ]	(219) 13
鳥倉英徳 : キンスジコウモリの飛行行動 —いつ, どこで—	(204) 66
上田恭一郎 : 追悼 <i>Gaden Sutherland Robinson</i> 博士 (1949-2009)	(201) 119
梅津一史 : ナカグロクチバを秋田県で採集	(207) 3
——— : エグリカイハネガの西表島での採集例	(224) 38
——— : [佐々木明夫を見よ]	(199) 7
山田 純 : [宮野昭彦を見よ]	(218) 120
山田真澄 : [遠藤弘志を見よ]	(205) 93
山本光人 : ニトベミノガの幼虫キショウブにつく	(204) 73
——— : 神奈川県座間市でクスサン幼虫の集団発生	(216) 56
山内健生・佐々木明夫 : 中国地方と九州におけるコブガ亜科の記録	(209) 104
——— : [佐々木明夫を見よ]	(209) 70
矢崎克己・中島秀雄 : ツシマカバナミシヤクとフジカバナミシヤク	(200) 59
吉安 裕 : 日本未記録のオオケブカノメイガ (新称) の西表島からの発見	(208) 37
——— : 日本未記録のヤマナカシダメイガ (新称) の北海道からの発見	(213) 108
——— : <i>Ostrinia sanguinealis</i> (Warren) アカノメイガ (鱗翅目, ツトガ科) の日本 (九州) からの再発見と その形態の考察	(217) 75

紹介

宮城県蛾類目録（柳田則明・斎藤勝雄・蛾類目録編集委員会）	(199) 14
摩周湖の昆虫 摩周湖昆虫類調査報告書（釧路昆虫同好会）	(201) 114
夜間における蛾の訪花活動（池ノ上利幸・金井弘夫）	(202) 160
日本の <i>Catocala</i> （西尾規孝）	(202) 166
舩倉島・七ツ島の昆虫相（富沢 章・吉道俊一・中田勝之）	(204) 64
東京都西部（西多摩郡）日の出町の蛾（大村信一）	(204) 71
北欧のヤガ科幼虫 III（Ahola M. & K. Silvonen）	(204) 74
釧路市春採湖の昆虫（釧路昆虫同好会）	(205) 86
亀山市史・自然編 第4章 昆虫・第12節 鱗翅目（ガ類）（亀山市史編さん委員会）	(205) 120
国府町史 自然編 資料（国府町史刊行委員会）	(205) 123
二宮町生物多様性基礎調査報告書（二宮町 生物多様性基礎調査研究会）	(205) 124
世界のカトカラ（石塚勝己）	(206) 153
イモムシハンドブック 2（安田 守）	(208) 64
イモムシ・ケムシぞろぞろ大図鑑（中島秀雄・岸 一弘）	(209) 75
スギ林における強度間伐が植生・昆虫・鳥類に及ぼす影響調査（中間報告）（四国建設弘済会）	(212) 58
ポプラディア大図鑑 WONDA 昆虫	(212) 80
岐阜県蛾類採集記録（2013 年編纂）	(213) 116
六虫会と中国地方の蛾類 六虫会 25 周年記念誌（谷田昌也編）	(214) 134
ふるさと尺の内公園開園 20 周年記念 ふるさと尺の内公園の自然誌	(216) 60
イモムシハンドブック 3（安田 守）	(217) 104
世界の美麗ヒトリガ（岸田泰則）	(220) 83
チョウ目（蛾類） 岐阜県昆虫目録 II（岐阜県昆虫分布研究会）	(220) 83
最上町の蛾類（高谷 太）	(220) 88
日進市史 自然編（愛知県日進市）	(221) 102
新潟県蛾類目録（佐藤力夫・清野昭夫・内藤恒夫）	(221) 116
和歌山城の蛾類（村瀬ますみ）	(221) 136
岐阜市におけるドクガ科 <i>Lymantria</i> 属 4 種の多発生	(223) 18
日本の冬夜蛾（ ^{キリガ} 小林秀紀編）	(223) 24
天然記念物標津湿原保全対策調査報告書	(224) 49
新潟県蛾類目録（2015 年発行）の訂正と追加の web サイト	(224) 51
国内の食品製造施設におけるミツモンホソキバガ <i>Oecia oecophila</i> (Staudinger) の大量発生，特に発生消長と発生源について	(225) 88
神宮宮域動物調査報告書（神宮司麿堂林部）	(226) 98
豊田市生物調査報告書（愛知県豊田市）	(226) 104
サビイロクチブサガの韓国からの記録	(226) 105
鱗翅類学入門 飼育・解剖・DNA 研究のテクニック（那須義次ほか編）	(226) 110
趣味からはじめる昆虫学 知られざる虫の姿を新発見！（熊澤辰徳編）	(226) 111

雑

訂正（越野，本誌 199: 20-21, 2010）	(201) 118
訂正 北海道におけるメイガ類の記録 II（編集担当）	(211) 42
訂正 <i>Catocala</i> の都道府県別分布概況（西尾規孝）	(212) 66

訂正 沖縄島初記録と思われる小蛾類 3 科 4 種の報告 (富永 智)	(212) 72
訂正 富永 (2002-2008) の「宮城林道」を「玉城林道」に訂正 (富永 智)	(223) 11
おしらせ 「誘蛾燈」バックナンバーの入手方法 · (199) 54, (207) 27, (211) 48, (215) 24, (219) 12, (223) 23	
おしらせ 誘蛾会編集担当の住所変更について	(212) 66
おしらせ 事務局移転のおしらせ	(214) 160

昆 虫 誌 か ら

(199) 54, (200) 93, (201) 36, (202) 167, (203) 37, (204) 75, (205) 124, (206) 154, (207) 28, (208) 62, (209) 107, (210) 152, (211) 49, (212) 81, (213) 114, (214) 154, (215) 26, (216) 58, (217) 98, (218) 137, (219) 37, (220) 84, (221) 135, (222) 166, (223) 25, (224) 54, (225) 84, (226) 113

発 行 年 月 日 一 覧

発行年	号 数 (ページ) ・発行月日			
2010	No. 199(1-56)	No. 200(57-96)	No. 201(97-140)	No. 202(141-168)
	1 月 20 日	4 月 10 日	7 月 31 日	10 月 31 日
2011	No. 203(1-40)	No. 204(41-84)	No. 205(85-128)	No. 206(129-160)
	1 月 31 日	4 月 30 日	7 月 31 日	11 月 20 日
2012	No. 207(1-32)	No. 208(33-64)	No. 209(65-112)	No. 210(113-156)
	2 月 10 日	5 月 1 日	8 月 20 日	11 月 20 日
2013	No. 211(1-52)	No. 212(53-84)	No. 213(85-116)	No. 214(117-160)
	1 月 31 日	5 月 31 日	6 月 10 日	11 月 30 日
2014	No. 215(1-28)	No. 216(29-60)	No. 217(61-104)	No. 218(105-140)
	2 月 28 日	5 月 20 日	7 月 31 日	11 月 1 日
2015	No. 219(1-40)	No. 220(41-88)	No. 221(89-136)	No. 222(137-172)
	3 月 1 日	5 月 30 日	9 月 30 日	12 月 1 日
2016	No. 223(1-28)	No. 224(29-60)	No. 225(61-88)	No. 226(89-116)
	2 月 29 日	6 月 1 日	8 月 1 日	11 月 15 日

凡 例

- この総目次は「誘蛾燈」No. 199～No. 226 に掲載されている事項を「報文」、「紹介」、「雑」、「昆虫誌から」の 4 項に分けて製作した。
- 報文の配列は著者名の ABC の順とし、同一著者のものは発表順とした。共著の場合は、最初の著者の項に載せ、2 人目以後の著者の項は、〔 〕内にその旨を示した。
- () 内に号数を示し、次にページ数を記した。

誘 蛾 燈 総目次

誘蛾会 : 440-0042 愛知県豊橋市栄町 144-3

abies@basil.ocn.ne.jp

(振替) 00890-6-183472 (年会費 6,000 円)

2017 年 1 月 10 日発行

GENERAL INDEX TO YUGATO

A Journal of Research on Moths

Published by the Yugato Society

144-3 Sakae-machi, Toyohashi, Aichi, 440-0042 JAPAN

Issued January 10, 2017